

# 令和7年度(2025年度)体験活動ボランティア派遣事業 活動の足あと

## 1 実績について

(1)登録チーム数・登録者数                      派遣回数・派遣ボランティア数  
17チーム・83名                      85回・104名

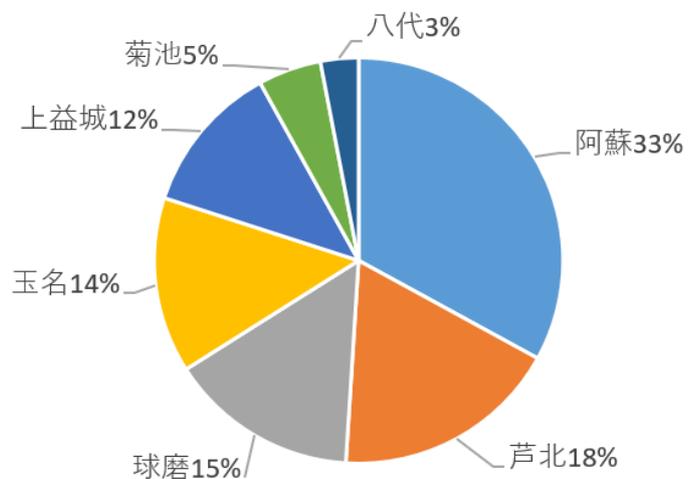
## (2)派遣先及び管内別派遣回数

玉 名：菊水小、三加和小、南関第四小、腹赤小、長洲小  
 菊 池：大津東小、護川小  
 阿 蘇：一の宮小、阿蘇小、波野小、中原小、市原小、久木野小、南阿蘇西小  
 上益城：御船小、木倉小、高木小、小坂小  
 八 代：泉小  
 芦 北：佐敷小、湯浦小  
 球 磨：西小、一武小、木上小、相良北小、球磨清流学園



体験活動ボランティアチーム派遣先 (R7年度)

管内	派遣回数
玉名教育事務所	12
菊池教育事務所	4
阿蘇教育事務所	28
上益城教育事務所	10
八代教育事務所	3
芦北教育事務所	15
球磨教育事務所	13
計	85



## (3)主な活動プログラム

- 楽器を使った遊び    ○読み聞かせ    ○手品    ○科学実験遊び
- バルーンアート      ○レクリエーション活動
- 落語                      ○工作                      ○ニュースポーツ など



## 2 主な活動内容と申請者の感想(報告書より抜粋)

### ■楽器を使った遊び(派遣チーム:あそBe隊(あそびたい))

ギターやペットボトル等を使った楽器、鼻で奏でるリコーダー演奏、世界の挨拶に関する歌、じゃんけんゲームなど、子供たちを引き込む要素が満載の大変楽しい時間だった。また、聞くだけではなく、体を動かしながら一緒に参加できた事でより楽しく学習することができた。



### ■朗読、体で表現する事を楽しむ遊び(派遣チーム:テアトロあまくさ朗読チーム)

新しい遊びや読み聞かせの手法など様々な部分で工夫されており、児童が集中して話を聞く姿が見られた。児童が知らない初めての体験をすることができ、「面白かった」、「楽しかった」と感想を持ち、とても有意義な活動になった。



### ■手品(派遣チーム:トモピエロ)

児童の興味や関心をグッと掴むような言葉かけやマジックが本当に素晴らしかった。また児童を前に呼んで一緒にマジックを進めていく際も、児童の視線を合わせてくださり、子供たちも安心できたと思います。いろいろな配慮が大変ありがたかったです。



### ■科学実験遊び(派遣チーム:おもしろ不思議な科学あそびと工作)

静電気の仕組みや段ボール空気砲等、見て体験でき、またその仕組みの説明も興味深くとても楽しい時間だった。一人ずつ用意された実験道具は全て手作りされており、一部は自分で作ってきちんとできたか確認できるなど、学びと遊びが融合したとてもいい経験ができた。



### ■バルーンアート(派遣チーム:バルーンアートの熊おじさん)

児童の興味を引くわかりやすい説明と丁寧なレクチャーをしてくださり、それぞれ集中してバルーン製作の体験をすることができた。出来上がった作品を見て、児童はとても嬉しそうな表情を浮かべており、大きな達成感を得たようだった。



### ■レクリエーション(派遣チーム:けんだいせい(熊本県立大学の学生))

宝物探しゲームは、大学生と一緒に折り紙で和やかな雰囲気の中、宝物を作成し、宝探しタイムになると児童は本棚やその隙間、机や椅子の裏側などあらゆる場所を探し、一転して賑やかになり大学生と交流を深めました。けんだいせいに来ていただいて良かったです。



### ■レクリエーション(派遣チーム:とよドン家)

「とよリンピック」として、スリッパとばし、お手玉キャッチ、足し算の当てなど8種類のレクリエーションを行いました。普段行わない物を使った遊びを通して、チャレンジする心の育成や出来たことによる自己肯定感の向上につながり、とても良い経験になったと思います。



### ■レクリエーション(派遣チーム:熊本県立菊池少年自然の家 学びの杜 清流)

「豆つまみ皿うつし」は、箸の持ち方、力の入れ具合などが難しかったが、箸の持ち方に目を向ける良い機会となった。「空き缶積み」は、いくつ積んだらやめるなど駆け引きがあり、作戦を立てる要素があった。児童は、それぞれの種目でやり方を工夫しながら楽しんで活動していた。



### ■落語(派遣チーム:つばなれの会)

初めて落語に触れる児童が多く、理解できるかな?と心配でしたが、まず、落語の基本的な説明(左右顔の向きを変えながら話す、最後には落ちがある)があり、小噺から長めの落語まで順を追って披露していただきました。子供たちはもちろん、大人のスタッフも楽しませていただきました。



### ■レクリエーション(派遣チーム: あそビーノ(国立阿蘇青少年交流の家))

高学年、低学年に分かれ、それぞれのレベルに合った体験ができた。高学年は、頭を使い、協力しないとクリアできない等、楽しさの中にリーダーシップや協調性も育むことのできる活動になった。3年生以下も、輪投げやバグゴといった楽しく体を動かす活動ができよかった。



### ■工作(派遣チーム:みんなのあませい)

貝殻ストラップづくりでは、順を追った説明と作業を繰り返し、高学年児童が低学年児童をうまくサポートしながら、スムーズに活動ができました。ボンドをたくさん使用する場面で不安そうな児童もいましたが、全員がとても綺麗な貝殻ストラップを作り上げることが出来ました。



### ■ニュースポーツ(派遣チーム:あしきた青少年の家)

最初に職員の方々から説明を聞き、楽しく活動できました。スポーツ系の活動に参加するのが苦手な児童がおり、いつも見学をしていますが、途中から「参加したいです」と自ら訴えてきてくれ、参加することが出来ました。参加児童全員が楽しく過ごせたことが嬉しかったです。



### ■工作(派遣チーム:作って遊ぼう)

牛乳パックを利用したぶんぶんごま作りでは、少しでもチャレンジしやすいように紐の結び方の絵を準備されていたので、普段は難しいと諦めたり、すぐに誰かを頼ったりする子供たちが頑張っている姿が印象的でした。時間内に完成させ遊ぶ時間を含め、1時間でできるように、キットをたくさん用意されていてありがたかったです。



### ■ニュースポーツ(派遣チーム:バロンちゃん(九州看護福祉大学の学生))

初めてのニュースポーツ体験を通して、児童の挑戦意欲が高まり、大学生の話を素直に聞きながら活動に取り組む姿勢が見られた。また、他者と関わりながら楽しく活動することで、協調性やコミュニケーション能力の向上につながる良い経験になった。



※体験活動ボランティア派遣事業は、子供たちへ豊かな体験活動を提供し、放課後子供教室と放課後児童クラブの一体的な取組の推進と子供たちの豊かな人間性の育成を目指しています！